

1分でわかる！EPLAN News

デジタルトランスフォーメーションによるお客様のメリットを最大限に

- EPLAN Partner Networkは発足から2年以上が経ち、約60社の国際的な企業が加盟
 - 提携パートナーの専門性を総合して、お客様の設計・製造メリット向上
 - 目的は、各社それぞれのソリューションとEPLANの最高水準な統合機能の提供
 - パートナー企業と電気設計CAD EPLANは緊密に連携し、お客様がデジタルトランスフォーメーションを実践するための基盤を整えようとしています。

■ 内容

EPLAN Partner Networkは、各社のソリューションとEPLANの統合機能を提供するという、1つの目的のもと集まり、今では約60社が参加しています。DXが進む今、製品コンフィグレータやCPQ、PLC、PLM/ERPなどを始めとする様々なソフトウェアがデータ交換できるという理想を実現すべく、各社が力を合わせて取り組んでいるのです。

2021年初めにはすでに、戦略パートナーのRittal社やPhoenix Contact社、Rockwell Automation社などオートメーション分野の主要企業がEPLAN Partner Networkに参加していましたが、2022年にはSiemens社とそのSmart Infrastructure部門も加わりました。そのほか国際的な有名な企業が数多く参加しています。

1分でわかる！EPLAN News

EPLAN Partner Network参加企業（複数のパートナーに登録している企業もあります）

戦略パートナー

Rittal、Phoenix Contact、Rockwell Automation、Siemens

研究パートナー

The European 4.0 Transformation Center (E4TC)、シュツットガルト大学
Institute for Control Engineering of Machine Tools and Manufacturing
Units (ISW)

ソリューションパートナー

ABB、Alexander Bürkle、B&R、Bosch Rexroth、Festo、ifm electronic
GmbH、Mitsubishi Electric、OMRON、Pilz など

技術パートナー

Wago、Weidmüller、Autodesk、Dassault、PTC、SAP、Schneider Electric
など



PARTNER NETWORK

**STRATEGIC
PARTNER**



PARTNER NETWORK

**RESEARCH
PARTNER**



PARTNER NETWORK

**SOLUTION
PARTNER**



PARTNER NETWORK

**TECHNOLOGY
PARTNER**



デジタルトランスフォーメーションによるお客様のメリットを最大限に

EPLAN Partner Networkは発足から2年以上が経ち、この間に約60社が加わりました。Phoenix Contact社やSiemens社、Rockwell Automation社などの戦略パートナーのほか、ABB社やLapp Kabel社、Wago社、Weidmüller社といった技術パートナーが、それぞれのソリューションのためにEPLANによる最高水準な統合機能を提供するという、1つの基本指針のもと集まっています。デジタルトランスフォーメーションが進む今、製品コンフィグレータやCPQ、PLC、PLM/ERPなどを始めとする様々なソフトウェアアプリケーションが互いに通信できるという理想を実現すべく、各社が力を合わせて取り組んでいるのです。



Eplan Partner Network.jpg : EPLAN Partner Networkには約60社が参加しています。こうしたパートナー企業と電気設計CAD EPLANは緊密に連携しながら、お客様がデジタルトランスフォーメーションを実践するための基盤を整えようとしています。

ドイツ・モーンハイム発—多くの企業は、異なるメーカーの様々なソフトウェアアプリケーションに支えられて業務を行っています。そこで、製品コンフィグレータやCPQ、PLC、PLM/ERPなどを取り巻く様々なソリューション間の生産的な相互運用を実現することで、そのポテンシャルを完全に活用できるようにしたいと考え、EPLAN Partner Networkを設立しました。このEPLAN Partner Networkでは、それぞれの統合性をさらに発展させることを義務的目標として設定し、メーカーのための強固な基盤を整えました。お客様にとっては、十分にテストされたソフトウェア品質とその継続的発展や、それぞれに固有のワークフローでの利便性が向上するなどのメリットが見込まれます。オープンインターフェースによる緊密な統合は、実世界でのデジタルトランスフォーメーション実現に幅広い可能性を拓くものとなります。

キーワードは統合

EPLAN Partner Networkは、戦略パートナー・技術パートナー・ソリューションパートナー・研究パートナーという4タイプのパートナー企業からなる国際的な連携フレームワークです。統合機能の共同開発という方法を探れば、品質保証やオープンインターフェースによるサポートはもちろん、ユーザーはアプリケーションからも最大限のメリットを引き出すことができます。



Partner Network Treffen.jpg : 対話も重要と考え、2022年11月に開催された展示会SPSでは、特にAlexander Bürkle社とABB社にEPALN Partner Networkのメンバーとしての活動について講演いただきました。

国際的なパートナーの拡大

2021年初めにはすでに、戦略パートナーのRittal社やPhoenix Contact社、Rockwell Automation社などオートメーション分野の主要企業がEPALN Partner Networkに参加していましたが、2022年にはSiemens社とそのSmart Infrastructure部門が加わりさらに拡大しました。また、技術パートナーは38社を数え、EPLAN Partner Networkで最も層の厚い陣容となっています。大手技術企業ABB社のデジタルエコシステム担当マネージャーLuca Cavalli氏は次のように説明しています。「電気システム設計者のネットワーク拡大においてEPLANは重要な役割を演じています。その好例が、当社ABBのe-ConfigureデジタルプラットフォームとEPALN Data Portalのシームレスな統合です。これにより、ユーザーにとって設計プロセスが効率化しました。持続可能なエネルギーシステムやスマートインダストリー向けのアップグレードの導入によって、ABBはこうした課題に取り組む専門技術者のサポートに全力で取り組んでいます。特に設計ツールと設定ツールの統合を通じて、時間短縮と高品質なデータの両方を保証しています。」

そのほかAuvesy-MDT・Ehrt・Gossen Metrawatt・Jetter・Sigmatekの各社も技術パートナーです。国際的にはDigiwin社（中国）とTrace Software社（フランス）もEPLAN Partner Networkに加わるほか、いずれもグローバル企業のOmron社・Wago社・Weidmüller社もパートナーになりました。Digiwin社のSandra Huang氏は次のように述べています。「Digiwin PLMとEPALNの統合によって、エンジニアは実際のプロジェクトのプランニングに完全に集中できるようになります。部品表や部品データ、プロジェクトデータなど関連する全情報が、EPLANプラットフォームとDigiwin PLMの間で自動的に同期されるからです。このようにプロジェクトの全ライフサイクルを通じて、一貫した最新データに保たれるのはユーザーにとって大きなメリットです。」

一方、ソリューションパートナーについても有名な企業が数多く参加しています。たとえば、Alexander Bürkle社（電子機器総合商社/技術サービスプロバイダ）、CADTalk社（CAD/PDM-ERPの統合）、Gideon社（システムインテグレータ）、D&TS GMBH社（マスターデータ管理）、Elmo Solutions社（CAD/PDM/PLM-ERPの統合）、Grollmus社（PLCプログラミング）、PLM CAD Utilities社（CAD/PDM/PLM-ERPの統合）、Secude International社（MicrosoftおよびSAPパートナー）、Semodia社（MTPエキスポート）、Solidline社（PLMシステムベンダ）、Wus-Tec社（ケーブル加工）、Zahnen Technik社（上下水道技術）などです。このことから分かるように、幅広いソリューションがEPLAN環境を活用し統合されています。Zahnen Technik社のCTOであるBenedikt Ney氏は次のように話しています。「当社は誰もがきれいな水を利用できるようにしたいと考えています。EPLANとの本当に優れたパートナーシップのおかげで、この理想に毎日、一步一步近づいています。」

研究パートナーの分野では、リューベック専門大学との協力が最近合意し、European 4.0 Transformation Center (E4TC) とシュツットガルト大学のInstitute for Control Engineering of Machine Tools and Manufacturing Units (ISW) という、これまでの研究パートナーの輪がさらに広がりました。

詳しくは、www.eplan-software.com/partner/をご覧ください。



イープランソフトウェア&サービス (EPLAN Software & Service)

EPLANは、電気制御盤・装置の「設計」「製作」「運用」の効率化を実現するためのソフトウェアとサービスをご提供しています。機械や制御盤メーカーに向けて、世界トップレベルの設計ソフトウェアを開発するとともに、難しい設計製造プロセスの効率化にも高い技術力でお応えします。

全バリューチェーンを通じたデータの一貫性を実現するには、ERPやPLM/PDMシステムに対するインターフェイスが重要です。EPLANをご利用いただければ、全てのエンジニアリング分野にわたってシームレスな連携が可能になり、中小企業からグローバル企業まで、企業の大きさに関わらず、お客様の専門技術をもっと効

率的に活用できます。EPLANは、設計から製造までつながるエンジニアリングと自動化を推進し、お客様をサポートしています。すでに「効率的なエンジニアリング (Efficient Engineering)」を理念として全世界で58,000社以上のお客様を支えています。

1984年創立のEPLANは、オーナー経営によるFriedhelm Loh Group (フリードヘルム・ロー・グループ) の一員です。Friedhelm Loh Groupは、全世界で12カ所の生産拠点と96社の子会社を運営しています。グループ全体で12,100名の従業員を擁し、2019年の売上げは約26億ユーロに達しました。より詳しい情報につきましては、www.eplanjapan.jpとwww.friedhelm-loh-group.comをご覧ください。

EPLAN Software & Services 株式会社

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-5-11金子第1ビル7階

--

電話番号: 045-274-7904

ファックス: 045-274-7905

info@eplanjapan.jp